

仕様書

1. 目的及び契約方法

堆肥を混合した新しい肥料である混合堆肥の利用拡大を図るためには、その肥効特性を明らかにし、肥効特性に基づく施肥設計手法を開発する必要があります。このため、混合堆肥複合肥料の窒素、リン酸、カリの肥効率を評価する手法を開発し、その手法に基づく施肥設計手法を確立するとともに、作物栽培によって施肥設計法の妥当性を検証します。そのためには作物栽培実証試験を行う必要がありますが、栽培試験においては、栽培前後の土壌、施用した堆肥、収穫した野菜の成分等の分析を行います。分析点数が多いため、土壌と野菜の成分分析については外部分析機関へ単価契約による分析発注を行います。分析発注については、一般競争入札で行います。

2. 分析方法

1) 土壌分析

土壌は室内で乾燥した後、2 mm メッシュの篩を通した「風乾細土」で分析を依頼します。分析項目、単位、分析方法は下表の通りです。なお、微粉碎作業も当方にて行い、風乾細土と併せて依頼します。

分析項目	単位	分析方法
pH(水抽出、1:2.5)		風乾土 8g に水 20ml
EC(1:5)	mS/cm	風乾土 8g に水 40ml
全炭素	%乾土	C/N アナライザー(微粉碎サンプルにて)
全窒素	%乾土	C/N アナライザー(微粉碎サンプルにて)
交換性カリ	mg/100g 乾土	Schollenberger 法に準じる
交換性マグネシウム	mg/100g 乾土	同上
交換性カルシウム	mg/100g 乾土	同上
CEC(陽イオン交換容量)	meq/100g 乾土	同上
可給態リン酸	mg/100g 乾土	トルオーグ法

注) 単位は風乾土でなく乾土あたりである。

2) 野菜の分析

野菜サンプルは細断・乾燥し、「微粉碎」したサンプルで分析を依頼します。

分析項目	単位	分析方法
全窒素	%乾土	C/N アナライザー
全リン酸	%乾土	ICP または比色法
全加里	%乾土	ICP または原子吸光法

3. 分析件数（見込みであり、多少変動する）

- 1) 土壌：約 100 点
- 2) 野菜：約 45 点

4. 分析期間

試料提供時に示す「分析結果の要望時期」までに分析結果を提出する。なお、天候不順などにより、サンプル送付時期のズレや件数の増減が発生した場合は、その都度、分析期間を協議する。

5. サンプルの輸送

分析サンプルは、分析受託会社が指定するところに送付する。送料は畜産環境時術研究所が負担する。

分析終了後、残ったサンプルは、粉碎前処理したサンプルを含めて、畜産環境技術研究所に送り返す。送料は分析受託会社が負担する。

6. 分析結果報告期限及び場所

日 時：試料受付から 3 ヶ月以内

場 所：福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原 1

一般財団法人畜産環境整備機構 畜産環境技術研究所

7. 分析に関する問合せ先

福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原 1

一般財団法人畜産環境整備機構 畜産環境技術研究所

担当者：畠中哲哉

TEL 0248-25-7777 FAX 0248-25-7540